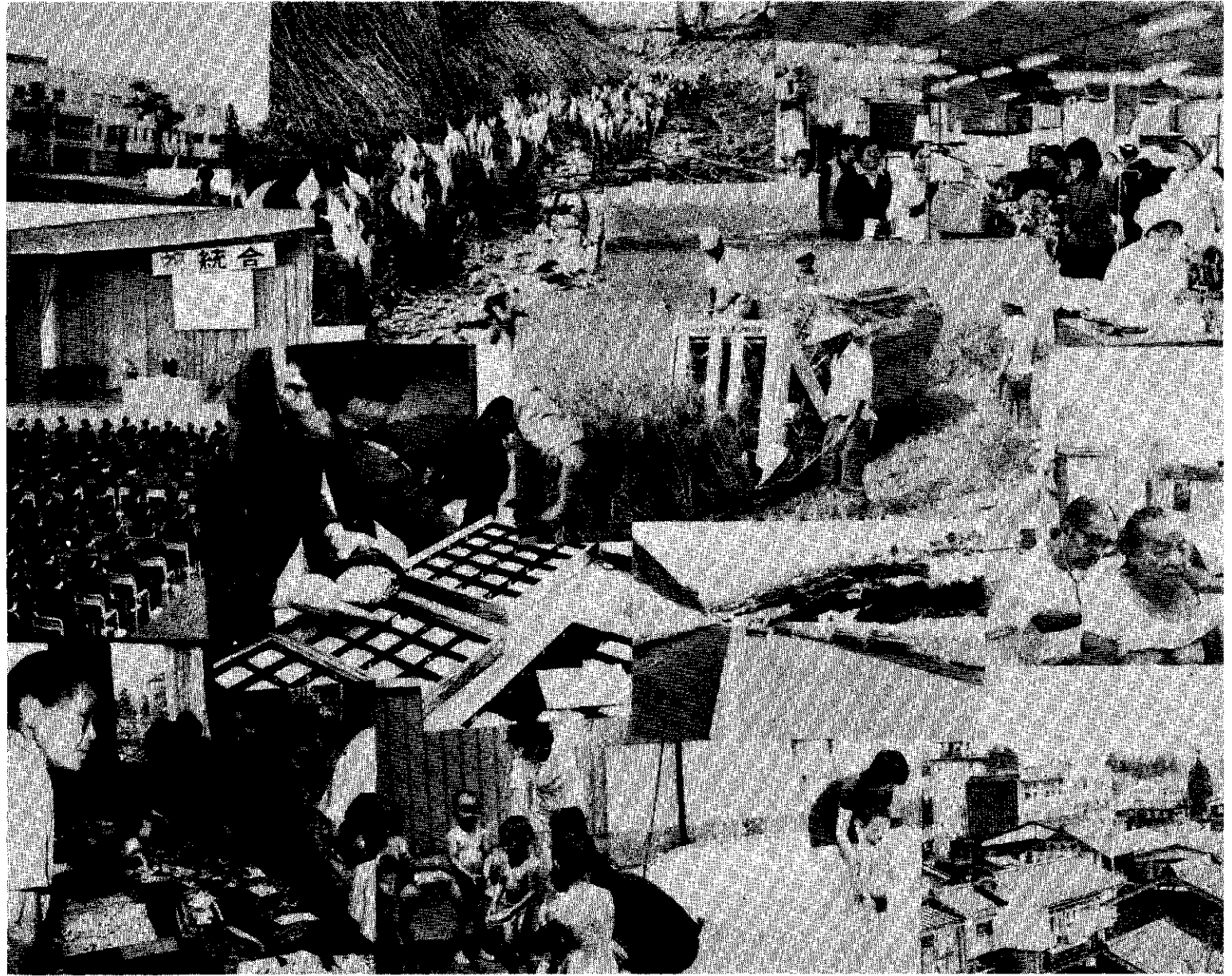


川西町 町 政 の ひ ろ ば No.14

昭和50年4月15日発行

発行者・中魚沼郡川西町〔町長・根津正三〕編集・川西町役場企画室広報係 印刷所・川西町中央町・白南風社



福祉の向上と住みよい町に！！

《特集・50年度予算の概要》

昭和五十年年度の町の予算が、それぞれ決まりました。一般会計ほか七つの特別会計は、しめて十九億九千五百三十一万六千円と、ほぼ二十億に手の届く大型予算となっています。

不況、インフレとさわがれている中で、国や県の方針に歩調をそろえながら、住民福祉の向上と住みよい町づくりに、積極的に取り組んだ予算といわれており、全部の会計での比

較は、前年当初より四十八・二パーセントと、大きな伸びをしました。

今年の特徴としては、いずれの会計でも歳入面の伸び悩みが目立ち、一方における歳出は、行政に対する要望の増や、事業費の増高等が大きくなっていることで、きびしいやりくりのあとが強く感じられます。

したがって、今後も歳入財源の確保には、極力目を光らせ、一方の歳出では、さらに節約ムードを浸透させる方針となりました。

とかく、地方自治体の財政は、硬直化の傾向にあるとの批判の中で、総合開発第二次五か年計画を尊重しながら、尽せるだけの手を尽し、健全財政をつらぬいた予算といえましょう。

本号は、成立した五十年年度予算の内容を、お知らせする特集としてみました。

一般会計

後進性からの脱却をめざし

投資面に力点

今年の指針

- 一、健康と福祉の充実
- 二、教育文化の向上
- 三、道路整備と豪雪対策
- 四、産業の振興
- 五、生活環境の整備

十四億四千四百八十八万八千円が一般会計の規模です。これは、前年当初より四十六・四パーセントと大幅な伸び率です。

この予算を編成した町長は「国県の方針に同調し、抑制

予算を堅持しているが、社会的公正の是正、住民福祉の向上のために財源の重点的な配分で、積極的な姿勢をつら

ねいている。山間へき地、豪雪地帯の後進性から脱却するため、最大限の努力を払った予算である。」と説明されています。

歳入財源が乏しい中で、ほぼ前年より五割近い増額予算となったことをみても、この基本方針がうなずかれるところといえましょう。

経費は最少に、投資は積極的というのが、今年の大きな特徴となっています。以下指針の概要です。

◎健康と福祉の充実

健康こそ、明るい豊かな町づくりのもとといえましょう。近年成人病が増える傾向にあり町でも、死亡者のうち六十五パーセントが、成人病によるものとなっています。

今年からは、し尿処理施設を増設する計画があるほか、火葬場の関係も組合に加入しましたので、中屋敷の火葬場は取りこわし、白倉に簡易火葬炉をと考えています。

このため、成人病対策は急務であり、今年は、全成人者を対象として、検診の徹底を行うことにしています。

一方福祉の面では、国県の施策にタイアップし、さらにきめ細かな事業を予定しています。

母子健康センターの利用は常に県下のトップで、うれしいことです。引続いて施設の充実をはかり、皆さんから喜

現在、川西町は四つの認可



お母さんといっしょに(千保入園式)

◎教育文化の向上

教育費は、総予算の二十一・三パーセントで最も大きいものです。

中学校が名実ともに川西中学校に切りかわった年にあたり、スクールバスの購入や、寄宿舎の建設などが目玉とされています。

この一日には、仙田、白倉両中学生百四十四名が加わり四百九十名、十三学級という理想的な川西中が築足しました。

小学校費は、大きな事業はなく施設や設備の充実のため(次頁上段へ)

保育所と、三つのへき地保育所がありますが、三歳児以上の保育率は、およそ八十パーセント、全幼児を対象とした場合五十四パーセントと、県下でも最上位となっています。今年、中仙田に定員八十名木造平屋建ての認可保育所を建設し、五十一年四月から開所する計画です。

町内老人に憩いの家を無料開放したことも、そうした配慮からです。

の費用が盛られています。

幼稚園費は、園舎の建設が予定されています。鉄筋平屋建て、四百三十五平方メートルの規模で秋ごろには完成の見込みです。

また、高校の川西分校は、五十一年になると教室の不足が予想されるため、債務負担により、旧仙田中の校舎を移築する考えです。

独立校を一日でも早く誘致するため、町としての受入れ体制を整えるものといえましよう。

そのほか、社会教育の面では、文化財の保全、民俗資料の収集や成人式、敬老会などの経費を見積っているほか、町民体育館の建設は、本年もさらに検討を加える期間としました。

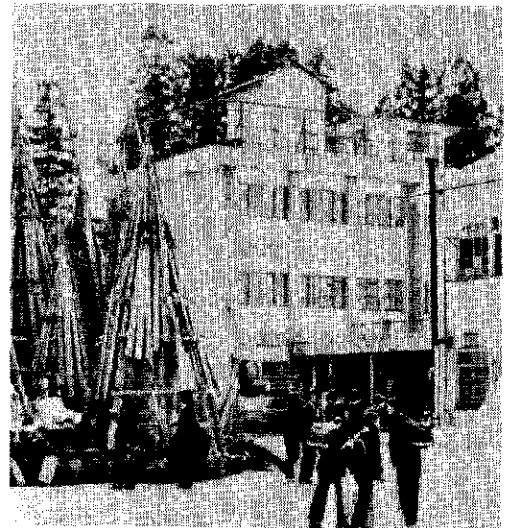
◎道路整備と豪雪対策

土木費は、一億五千六百万円で前年より十二・五パーセントほどの伸びにとどまりました。

町道改良十、舗装六、消雪パイプ一の十七路線の計画です。

改良については、除雪を可能にするというのを原則としたものですが、資材の高騰などにより、予定事業の全部を完了できるかどうか、多少危ぶまれるところもあります。年々、道路網の整備が進め

通学バスを待つひととき（川中）



◎産業の振興

ほ場整備も本年の六十八ヘクタールを残すだけとなりました。五十一年からは、全面積に作付けができることになりまう。

今年は、道水路工事を含め七億円余り、かん排関係で五億ほどの事業が計画されています。

今後は、仙田地区の開発が考えられますが、本年赤谷地区で四・五ヘクタールのほ場整備をモデル的に行うことにしました。

二次構も三年目を迎え、軌道にのりつつあります。本年は、橋地区のライスセンターをはじめとして、東部地区一億六千万、東部第二地区五千百万、東部第三地区一億二

所は職員二名の増員で、総員十三名となりました。本年度五千五百二十六万円の負担金ですが、この中には、分置所の維持管理や非常備消防施設を充実する費用を含んでいるものです。

分置所開設以来、大きな火災もなく、救急業務も円滑に進められています。

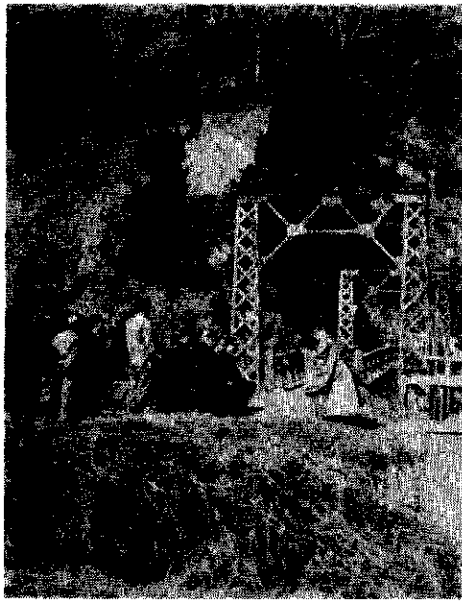
関連して交通安全の面です。二百三十七万の予算で、さらに対策に力を注ぐ方針です。死亡事故ゼロの日が現在九百日近く続いています。

さて、四十九年度からの事業として、克雪管理センターの建設があります。総工費約七千九百万、二か年の継続事業で、本年は残りの工事ということになります。

◎生活環境の整備

過疎現象もようやく落着きをみせています。生計を営む仕事があつて、住みよい環境づくりができるなら、人々は喜んで住んでくれることでしょう。

高倉のセカンドハウスは、都会の人たちから好評を得て

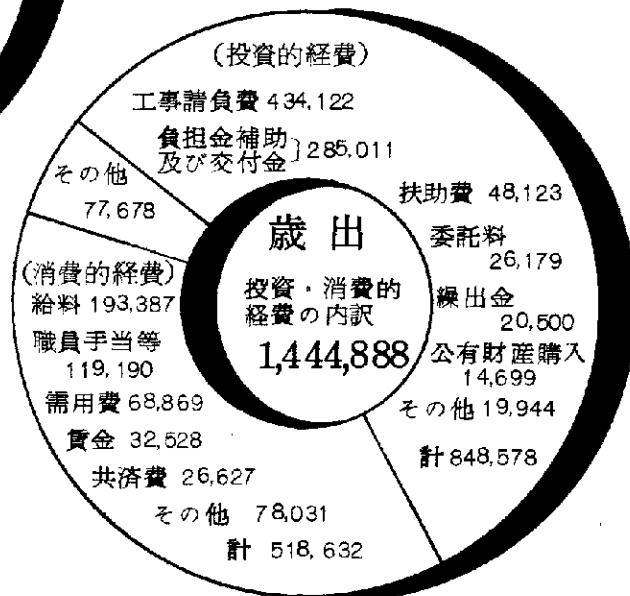
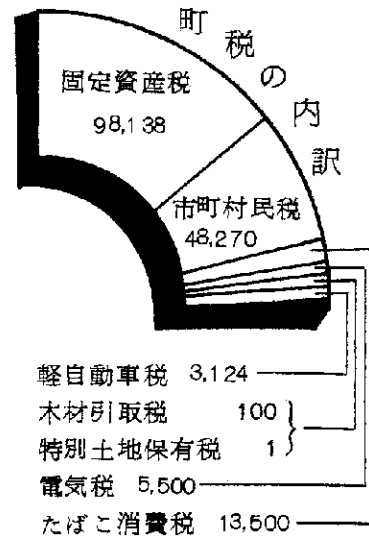
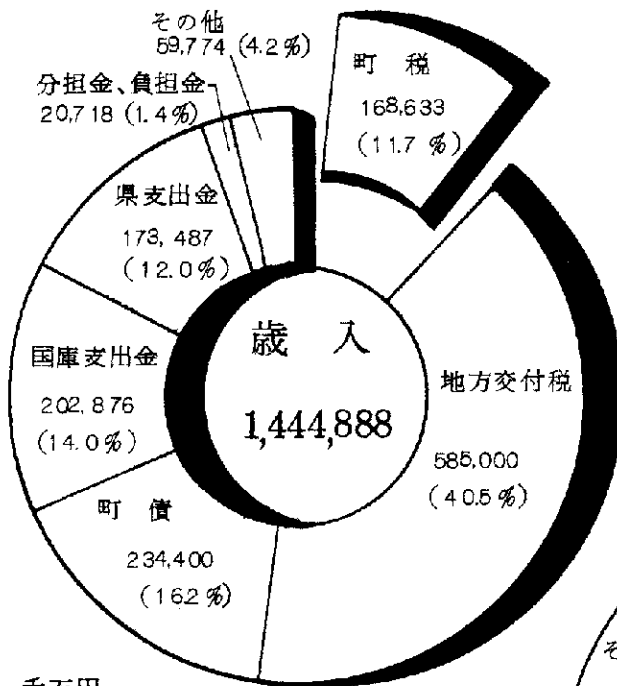


昨年十一月、起工式の深瀬橋

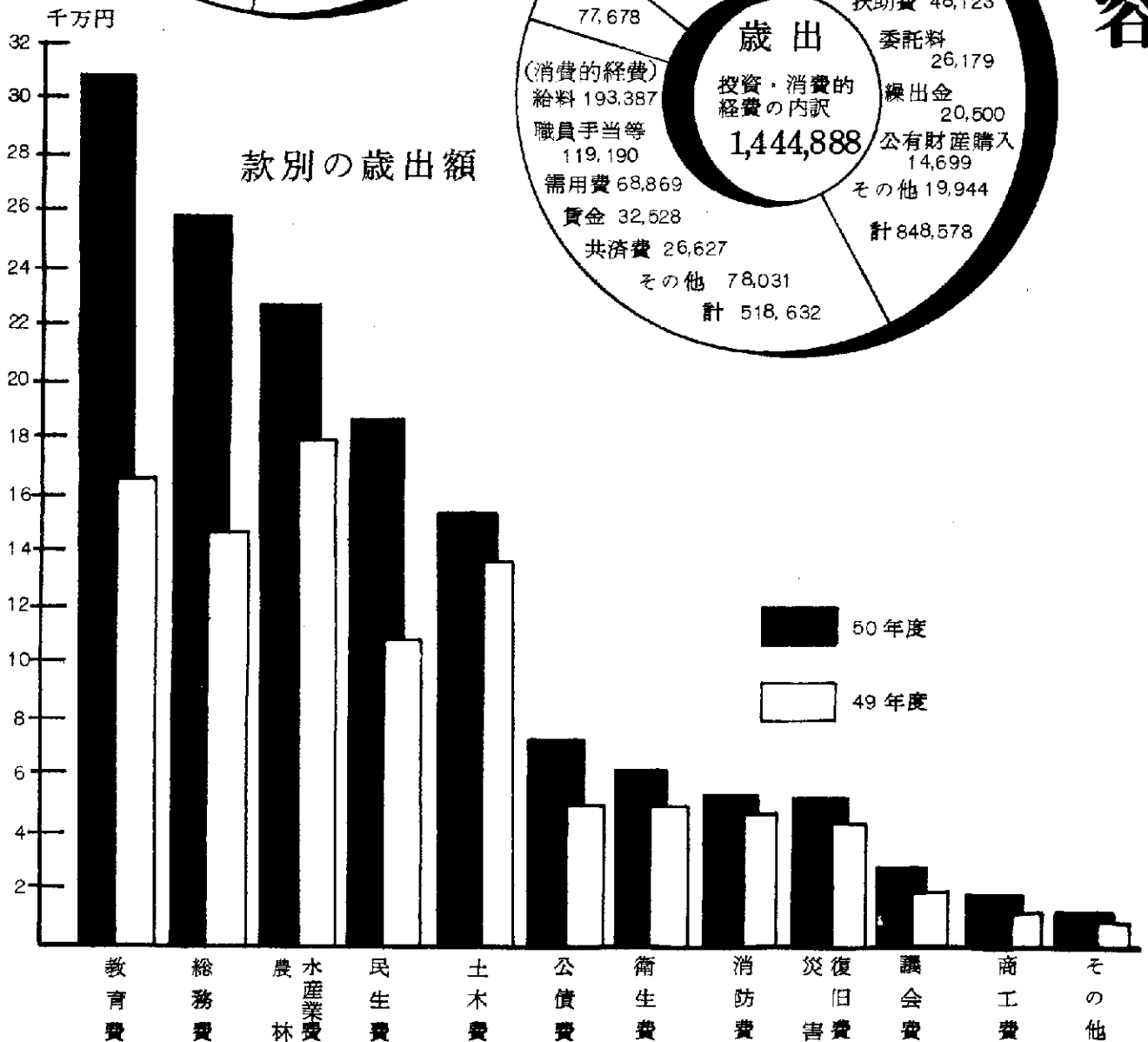
(一般会計)

歳入・歳出の内容

単位・千円



款別の歳出額



主なる仕事

単位：万円

【総務費】

* 合同しゅん功式 100、* 町有住宅有線工事 47、* 仙田開発協議会補助 40、* 街路灯設置 13、* カーブミラー設置 27、* 集落移転住宅建設利子補給 27、* 広域事務組合負担 374、* マイクロバス購入 195、* 克雪センター建設 5,532、* 農村総合整備計画 49、* 税納期前納付奨励金 212、* 納税組合事務交付 128、* 町長選 105、* 農委選 93、* 国勢調査費 95

【民生費】

* 町社会福祉協補助 57、* 老人クラブ運営補助 119、* 国保会計繰出 600、* 敬老祝金 88、* 寝たきり老人見舞金 24、* 老人医療費扶助 2,927、* 出かせぎ者帰省バス補助 11、* 児童絵本代 34、* 保育所建設 3,217

【衛生費】

* 予防接種 48、* 循環器検診（2次検含）105、* へき地医薬品代 23、* 予防接種ワクチン代 104、* 子宮ガン検診 16、* 結核間接撮影（精検含）61、* 胃ガン検診 77、* 妊産婦乳児医療扶助 150、* 防疫剤無償配布 122、* 旧火葬場取りこわし代 60、* 十日町市川西町衛生施設組合負担金 2,000、* 下水溝整備補助 40、* 簡易火葬炉設置補助 10、* 妊婦乳児検診 51、* 母子栄養強化ミルク代 45、* 水道会計繰出 600

六、分担金及び負担金
特定の事業を行うことにより、その受益者から徴収する。

九、県支出金
（次頁上段へ）

七、使用料及び手数料
母子センターの使用料や総合センターの使用料のほか、戸籍関係の証明料などがこれです。

八、国庫支出金
町が行う事業に対して、国がその一部を負担するもの、本来国が行うべき仕事を町が代行するものに対する交付金、国が奨励する事業を取り入れたときの補助金などがこれにあたります。

十、国庫支出金
いわば、事業に対するひもつき財源といえるもので内容は広範囲にわたります。

歳入の構成

財源不足から

交付税・町債などにしわよせ

五十年年度の歳入は、大きく分けると別表のようになりま

す。それぞれを簡単に説明すると次のようなものです。

一、町税

市町村民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ消費税、電気税、木材引取税などを総称して町税といっています。

このうち最も大きいものは市町村民税と固定資産税となります。

軽自動車税は、昨年より三万八千円ほど減額し、三十三万四千円です。

たばこ消費税は、町内で売

られるたばこに対して課税されるもので、ほぼ一割の増が期待されています。四十九年度の場合百円のたばこに対して十五円六十銭くらいが町に入っていました。今年はさらに増額される見込みです。

自動車の購入時に徴収されるもので、総額の七十パーセントが市町村に交付されてきています。

四、地方交付税

歳入中最も大きい財源です。

三、地方譲与税

現在町では、自動車重量税

と税だけです。これは国で徴収する自動車重量税の四分の一が地方にくるもので、本年は七百万円の計上です。

三、自動車取得税交付金

これは国が徴収する所得税、



自動車重量税は、道路整備のために

法人税、酒税の総額の三十二パーセントを地方に交付する

ものです。

例え、災害復旧費の分担金のほか、保育料などを負担

金として徴収します。

七、使用料及び手数料

母子センターの使用料や総合

センターの使用料のほか、戸籍関係の証明料などがこれ

です。

八、国庫支出金

町が行う事業に対して、国

がその一部を負担するもの、

本来国が行うべき仕事を町が

代行するものに対する交付

金、国が奨励する事業を取

入れたときの補助金などがこれ

にあたります。

十、国庫支出金

いわば、事業に対するひも

つき財源といえるもので内容

は広範囲にわたります。

九、県支出金

（次頁上段へ）

主なる仕事

単位：万円

【農林水産業費】

*町有線事業補助 500、*農業共済繰出金 350
 *共同育苗補助 15、*たばこ耕作奨励補助 20
 *大豆栽培育成補助 30、*優良畜産導入補助 30、*基盤整備事業補助 1,000、*小規模土地改良補助 200、*農道補修事業補助 300、*二次構導入事業利子補給 488、*同事業費補助 12,096、*林業費 1,797（林道開削、造林事業等）*錦鯉組合等補助 18

【商工費】

*商工会補助 180、*育成資金貸付 400、*野口白倉観光道路舗装、節黒城跡キャンプ場及び二六公園整備 700

【土木費】

*道路補修 175（下平・神社・沖立線、赤谷橋等）、*町道工事等 8,100（改良 伊友裏町上野西浦・山手・野口下原・新町岩瀬・北沢田戸藤沢・十二林環状・小脇環状・木落原田線、舗装 四郎兼寺尾・伊友小根岸・下平新田元町・野口西浦・中屋敷藤沢・山手線、消雪パイプ、下平線等）、*仙田地区道路舗装原材料 200、*橋りょう新設改良 1,500（深瀬霜条橋等）、*除雪関係費 1,399、*準用河川改修工事 300

【消防費】

*広域消防費 5,670（常備消防 4,485、非常備消防 1,185）

【教育費】

*児童用机、いす 135、*小学校工事請負 290（千小プール浄化装置替、上野小水道配管、仙小校庭整備、白倉小グランド防球網）、*白倉小グランド用地買収 99、*川中通学バス委託 744、*スクールバス購入 435、*学校建設工事 11,200（寄宿舎スクールバス車庫等）、*寄宿舎給食設備等 385、*幼稚園建設工事 5,220（園舎建設等）、*同備品購入 47、*成入式費 63

【災害復旧費】

*国庫農林水産施設災 4,136（岩瀬・大白倉室島・藤沢・星名新田・小白倉・小脇・中仙田・大倉・野口・上野・中屋敷等）、*同町費分 70、*国庫公共土木災 648（観光道路・室島藤沢・新町岩瀬・中屋敷藤沢線、山野田川等）*同町費分 200

【公債費】

*元金 2,943、*利子 4,144

たばこは町内でお買求めを

前年度の決算により、繰越されるもの、一千万円を見込みました。
 十三、町債
 町の借金ですが、国の許可
 参考までに、今年支払う借金の利子は、四千四百四十三万円、一世帯当り一万七千六百円、一人当りでは三千九百七十円程になります。

国庫支出金と同じようなもの、例え、保育所運営費、老人医療費、農業構造改善事業等々、やはり範囲の広いものです。
 十、財産収入
 町有財産の売却、町有住宅、機械の貸付け料などの収入です。
 十一、寄附金
 事業に対する地元寄附などがこれにあたります。
 十二、繰越金
 三月末の借金の総額は、五億三百万ほどですが、新規の借入分を含めると五十一年三月には、七億八百万となります。
 財源不足の関係から、このへんにもかなりの無理が表われているようです。

無制限ではありません。前年は一億一千五百万円でしたが今年は二億三千四百四十万円と倍増しました。

町 税 の 推 移

単位：千円

区 分	47年度	48年度	49年度	50年度
市 町 村 民 税	28,436	31,173	42,000	48,270
固 定 資 産 税	84,562	81,516	82,375	98,138
軽 自 動 車 税	3,314	3,314	3,262	3,124
た ば こ 消 費 税	9,518	10,143	12,262	13,500
電 気 税	4,964	4,746	5,400	5,500
木 材 引 取 税	128	150	150	100
計	130,922	131,042	145,449	168,632

今年借入れ予定の地方債

単位：千円

起債の種類	金額
1. 克雪管理センター建築	46,000
2. 保育所建設事業	10,000
3. 有線放送設備整備事業	4,000
4. 観光道路整備事業	5,000
5. 林道開設事業	3,000
6. 道路橋りょう及び河川改良事業	71,700
7. 川西中学校寄宿舎建築	50,000
8. スクールの事業	3,000
9. 川西幼稚園	30,000
10. 災害復旧事業	6,700
11. 道路改良事業	5,000
合 計	234,400

一般会計予算

一世帯当り 618,000円

一人当り 139,159円

町 税

一世帯当り 72,127円

一人当り 16,241円

(50, 4, 1現在)
 世帯数 2,338
 人 口 10,383

特別会計

節減に努め

住民サービスの向上をめざす

『国保事業会計』

保険料三十七・九パーセント
引上げ

本年度予算二億三千七百二十五万七千円は、前年当初より三十二・六パーセントの伸び率です。

歳出では、保険給付費（医療費等）が八十七・七パーセントと予算の大部分をしめています。

昨年二回にわたる医療費の値上げや、医療費の無料化、高額療養費の支給などが、大きな原因と考えられます。

歳入面では、保険料が全体の三十二・一パーセント、国庫支出金が六十三・四パーセ

ントとなっていますが、国の補助にも限度があるため、いきおい保険料に負担がかけられることとなります。

今年の場合、保険料は世帯平均四万九千六百四十四円、三七・九パーセントの引上げとなりました。

高福祉のためある程度の高

『国保施設会計』

診療所・仙田へき診・歯科診療

いずれも診療収入が歳入の大半

診療所

歳入歳出四千二百五十一千円の規模で、歳入にあつては、診療収入が全体の九十五・八パーセント、四千三十七万五千円とほとんど予算全額をしめている形です。

また、歳出では、薬品類、注射器、ガーゼなどの医療費が、全体の五十二・八パーセントのほか、従事職員の給料

負担もやむを得ないものといえましょう。別表は、近隣市町村の保険料ですが、医療機関が身近にある地域、便利な所ほど保険料が高い現象となっています。

歳出の内訳

一、総務費	一、三九八八千円
二、保険給付費	二、〇七八一五千円
三、保険施設費	九〇五六千円
四、基金積立金	一一一十千円
五、公債費	四十千円
六、諸支出金	二千円
七、予備費	六二三五千円
合計	二、三七二五七千円

等を含む総務費が四十二・九パーセントとなっています。

昨年当初予算より、二十六・四パーセントほど伸びていますが、歳入のほぼ全体をしめる診療収入の伸びを反映した予算構成となっています。

歳出の内訳

一、総務費	一、三九八八千円
二、保険給付費	二、〇七八一五千円
三、保健施設費	九〇五六千円

(次頁上段へ)

・節約—人件費—あれこれ

いずれの自治体でも、予算編成で最も注目されたのが人件費のようです。人件費の伸びが、他の事業費を圧迫するために、財政構造のバランスがくずれ、という大きな理由のようでした。特に今年は、人件費に限らず財政内容の再検討を余儀なくされたことも否めません。

庁用備品類の購入取りやめ、消耗品類の節約、諸会議での飲食の削減、そのほか、人件費では、町長以下管理職の給料の一部返上、一般職員の超過勤務手当額の頭うちなどを中心としてケチケチ運動を盛りあげています。

人件費は、総額で三億八千二百五十万、前年の二億七千七百八十八万より四十一・三パーセントからの伸びです。予算全体に占める割合は、二十六・五パーセントです。人件費といってもその範囲は非常に広いものになります。町三役をはじめ一般職員、議会議員、町政事務員や各種行政委員会の委員に至るまで、関連する人たちの給料、報酬

などすべてを含みます。その中でも、一般職員が最も多いわけですから、給料が人件費の半分近くをしめるのもやむを得ないことですが、町の規模や、財政面からして、ほぼ適当な人件費構成となっているようです。

一般に、自主財源だけで人件費をまかなえない、といったことを言いますが、私どもの町でも、数字を比較すればそういうことになります。しかし、地方行政といえども、国県の委託業務も年々量が伸びており、また、町が国県にお願いして取入れる事業も多岐にわたっています。

したがって、自主財源と依存財源を混合して、はじめて地方の行政が円滑になるわけで、町が多額の事業を導入するためには、どうしても職員数が多くなり、したがって人件費も増えることになります。

また、ケチケチ運動の中では、議会議員が特別旅費を返上された経過もあり、苦しい予算の内面をのぞかせるものといえましょう。

四基金積立金	一、二一、一〇〇千円	四、予備費	二、〇〇〇千円
五、公債費	四、〇〇〇千円	合計	一、五、〇三、八千円
六、諸支出金	二、二〇〇千円		
七、予備費	六、二二、五〇〇千円		
合計	二、三、七二、五七千円		

歯科

へき診

本年度予算一千五百三万八千円は、前年より二十四・二パーセントの増となりました。歳入では、診療収入が一千三百七十七万円で全体の八十六パーセントをしめています。

本年度当初より二十七・四パーセント伸びた、一千七十七万の予算となりました。内容は、国保施設会計とほぼ同じもので、診療収入が歳入のほとんどをしめ、歳出では、総務費、医業費が主なるものです。

歳出の内訳		歳出の内訳	
一、総務費	一、五三三、三〇〇千円	一、総務費	六、四八四、四〇〇千円
二、医業費	一、四五五、五〇〇千円	二、医業費	三、四七三、三〇〇千円
三、公債費	五〇、〇〇〇千円	三、公債費	一、〇〇〇、〇〇〇千円
四、予備費	五〇、〇〇〇千円	四、予備費	五〇、〇〇〇千円
合計	一、〇、一〇七、七〇〇千円	合計	一、〇、一〇七、七〇〇千円

農業共済

損害防止に重点

前年度予算四千二百七十五万一千円を、二十・六パーセント上回る五千五百五十四万四千円となっています。特に今年は、前年の不作のつをふまえないよう、損害防止対策を重点としています。

参考までに、昨年水稲の減収により支払われた共済金額は、五百万をこえており、平年の場合には、百万円程度のことです。したがって、町では損害防止に重点を置くとともに、補償面の充実も考え選

簡易水道、水道会計

施設の充実をめざす

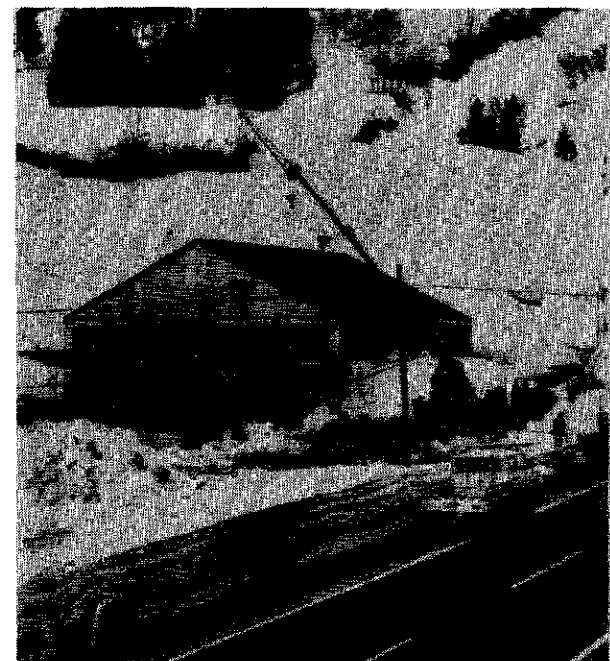
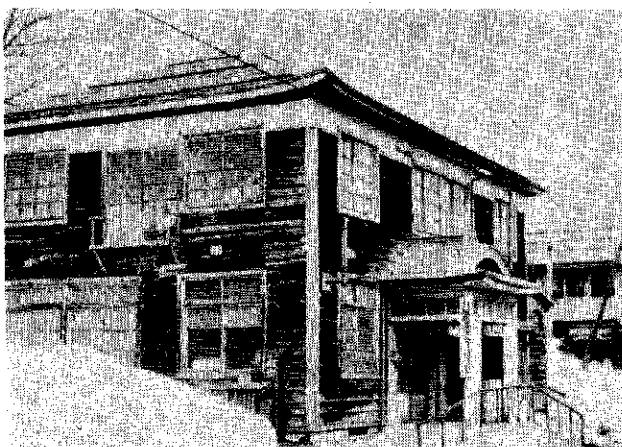
使用料は現行のまま

水道は、簡易水道事業一千四百七十六万一千円、水道事業（企業会計）一億七千七百八十八千円の二つからなっています。

簡易水道では、中仙田、橋赤岩地区のそれぞれの維持管理費を中心に構成されており、企業会計では、前年から広域水道施設の建設事業に主力が注がれています。

広域水道施設は、千手、上野地区を対象としたものです。この完成により、断水、水不足の解消が進められます。また、給水料の全町一律に一トン当り四十円は、従来のままとなりました。

(住民の健康を願って...上 診療所にて、下 仙田へき診)



(全自動化する浄水場)

また、水稲収量等級改定調査を行う経費もみられていた。歳出の内訳

一、農作物共済勘定	三〇、一六六千円	二、委託共済勘定	二八六千円	三、家畜共済勘定	七四二千円	四、業務勘定	一九、三五〇千円	合計	五一、五四四千円
ほゞ、単価が割高となつてゐるようです。		簡水歳出の内訳		一、総務費	三四二七千円	二、維持管理費	四〇一二千円	三、公債費	四、七三五千円

企業会計歳出の内訳

一、水道事業費用	一、三六二、一〇〇千円
二、資本的支出	一、五七四、五七〇千円
合計	一、七二六、六七〇千円